

第 66 回 高校生協通常総代会

参集・対面による開催で、全議案が可決！

去る 6 月 10 日、2025 年度高校生協通常総代会が開催されました。前年と同様に参集を基本とした形態での開催となりました。県内各地から 14 名に参加いただいた総代会となり、下記報告の全議案が賛成多数で可決、成立しました。

2024 年度は新規採用者を中心とした組織拡大に取り組み、きずな、ガソリンカード等の利用開始に伴う組合員加入をすすめてきた結果、期末組合員数は 4,874 人と前年より 71 人増え、組合員加入率は、現職 71.4%、新採 62.9%、退職後継続率 90% と前進しました。

供給事業では、コロナ禍の影響から抜けつつあるものの、活字離れや提携指定書店廃業と産直農産物の酷暑による影響が大きく、供給高は前年比 7.6% 減となりました。

手数料事業では、学校生協ガソリンカードの発行枚数も増え、利用高（供給量 × 時価額）は 3 社で 4.6% 増となりました。また、ハウジングセミナー・個別相談会も好評で、参加者が増えています。一方、グループ保険「きずな」は退職時に非継続となる人が多く、加入者数は漸減傾向にあります。2024 年度は約 44% の配当となり手数料も前年度並となりました。

剰余金処分については、期中の書籍割引以外に利用割戻しは行わず、3 月末出資金残高の 1.0% を配当することが承認されましたので、7 月末に出資金残高に上乗せして配当を行う予定です。出資金への上乗せを希望しない組合員は 7 月 18 日までに事務局へご連絡ください。

2025 年度事業計画の重点課題は、①書籍供給のさらなる促進を図るため今年も 5% 割引を継続し、10 月には消費税 5% 減額・インボイス反対キャンペーンとして 10% 割引を実施する、②ハウジングメーカーとの提携を拡大し、組合員の「住まいのニーズ」に応える、③ガソリン価格高騰の折、学校生協カードをさらに普及し利用率を高める、④グループ保険「きずな」は、「介護保険」加入者を増やし加入率を維持する、⑤農民連の産直農産物の注文で HP のショッピングカート利用を促進する、⑥大規模災害に備える「食料備蓄」「防災グッズ」等の企画検討をすすめるなどの方針について提案・承認されました。

採択された 2024 年度決算概要と剰余金処分は下記のとおりです。

＜貸借対照表＞	☆ 資産合計	1 5 3, 2 7 1 千円（うち純資産 86,736 千円）
＜損益計算書＞	☆ 事業総剰余金	3 2, 2 1 4 千円（前年比 99.6%、予算比 95.7%）
	☆ 事業経費	2 9, 5 8 2 千円（前年比 96.3%、予算比 90.3%）
	☆ 経常剰余金	3, 0 9 0 千円（前年比 136.7%、予算比 241.4%）
＜剰余金処分＞	I 当期末処分剰余金	2, 2 5 8, 8 0 3 円
	II 剰余金処分額	1, 5 2 1, 4 8 0 円
	1 法廷準備金	9 0 0, 0 0 0 円
	2 任意積立金	0 円
	3 出資配当金	6 2 1, 4 8 0 円
	III 次期繰越金	7 3 7, 3 2 3 円

